

科目名	メディアコミュニケーション学演習 I B 2				
担当者	王 雪萍(オウ セツヘイ)				
年度	2020	授業コード	1540104002	科目ナンバリング	
対象年次	2～4	授業形態	-	単位数	2
時間割	秋火 3	開講キャンパス	白山	教室	
主たる使用言語	日本語		実務教員科目		
授業科目区分					
授業回数					
受講対象学科					

【サブタイトル】

グローバル社会の変容とメディア

【講義の目的・内容】

本演習は、世界のメディア報道を弁別する力を高めるための授業です。グローバル化が進む今は、テレビ、新聞、インターネットなど様々なメディアを通じて、瞬時に世界の最新ニュース、情報に接することができる時代です。しかし、同時に世界各国ではナショナリズムや民族主義の増長も多くみられています。そうしたなか、メディアの経営状況、報道内容も随時グローバル社会の変化に影響され、同時にメディアの報道も、国際政治、経済などにも大きな影響を与えています。つまり、グローバル社会の変容とメディアの変容は相互に影響し、連動しています。本演習では、日本やアメリカ、欧州、アジアなどの地域の各メディアの報道を中心にメディアの報道とグローバル社会の変容の関係を分析するためのスキルを習得してもらい、日本語や英語のニュース報道や参考文献を読み、多方面・多視点から問題分析する能力を養います。また本演習は、メディアコミュニケーション学科新聞プロジェクトに参加する演習科目のため、授業中に新聞プロジェクトの関連行事や、新聞の比較分析なども行う予定です。

【学修到達目標】

1. 世界各国のメディアの違いを分析し、弁別する能力を養います。
2. 図書館やインターネットを駆使して資料を収集し、さらに調査・分析する能力を向上させます。
3. 各種メディアの表現方法、効果を学術的に分析する能力や知識を身に付けてもらいます。

【講義スケジュール】

- 第1回 オリエンテーション、夏季休暇中の個人課題の提出、春学期グループワークレポートに関する評価、説明
 第2回 個人課題の発表1（英国、アメリカのメディア）
 第3回 個人課題の発表2（メディアと外国イメージ、メディアの組織）
 第4回 新聞PJグループワークの中間発表1、2（北米、南米）
 第5回 新聞PJグループワークの中間発表1、2（欧州、アフリカ）
 第6回 新聞PJグループワークの中間発表1、2（アジア、一面記事における外国報道）
 第7回 外部講師講演
 第8回 個人課題の発表3（グローバル・ジャーナリズム、メディア不信）
 第9回 個人課題の発表4（日本と世界のメディア史）
 第10回 新聞PJグループワークの最終発表1（北米）
 第11回 新聞PJグループワークの最終発表2（南米）
 第12回 新聞PJグループワークの最終発表3（欧州）
 第13回 新聞PJグループワークの最終発表4（アフリカ）
 第14回 新聞PJグループワークの最終発表5（アジア）
 第15回 新聞PJグループワークの最終発表6（一面記事における外国報道）

【指導方法】

1. 演習科目は積極的な参加が必須です。毎回の授業で必ずすべての学生に発言機会を与え、自分の意見をしっかりと述べられるように努力してもらいます。
2. グループワークを通じて、共同作業、共同研究ができる能力を養います。
3. 個人課題の発表を通じて、自分の関心分野を見つけて、資料収集、資料分析の能力を向上させた上で、聴衆を意識したプレゼン能力を高めます。

【事前・事後学修】

受講生には、毎回の話題について発言できるように事前に配布する資料、文献を読んでから、授業に参加してもらいます。また、グループワークと個人課題に関しては、資料調査や発表準備をきちんと行うこと。毎回授業の後、しっかり復習し、教員の講義や、他の学生の報告に対する質問・コメントを必ず提出してもらいます。また授業時に教員が指示した課題についても必ず締切までに提出してもらいます。事前事後学習は毎週3時間程度必要です。

【成績評価の方法・基準】

授業参加度 10%
 グループワーク発表 30%
 個人課題発表 30%
 提出課題 30%

【成績評価の基準】

東洋大学の成績評価の基準に準拠します。

【受講要件】

なし

【テキスト】

配布プリント

【参考書】

授業時に提示

【関連分野・関連科目】

【備考】